

価格

製品ライセンス (必須)	SP スケジューラー		SP ディスカッション	
	1台目の web サーバー	998,000 円	1台目の web サーバー	998,000 円
	2台目以降の web サーバー	498,000 円	2台目以降の web サーバー	498,000 円
バージョンアップ ライセンス	498,000 円/web サーバー		498,000 円/web サーバー	
サポート ライセンス	198,000 円/年		198,000 円/年	

- 製品ライセンスおよびバージョンアップ ライセンスは、SharePoint Server のライセンスを購入して構築した環境すべての web サーバー台数分の購入が必要です。
- バージョンアップ ライセンスは、SharePoint Server 内での無償バージョンアップを保証します。
- サポート ライセンスは年間 10 インシデントまでのメールによるお問い合わせに対するサポートが提供されます。

※ お問い合わせは「Cybozu SP Apps」に関する内容のみとなります。Microsoft SharePoint および関連ソフトウェアのご質問につきましては、各製品のお問い合わせ窓口をご利用ください。
 ※ 上記価格には、インストール/現地調査などの技術作業費は含まれません。

必要システム

ハードウェア要件

コンポーネント	要件
プロセッサ	<ul style="list-style-type: none"> ● 小規模展開 (1,000 ユーザー未満) の場合は 64 ビット、4 コア ● 中規模展開 (1,000 ~ 10,000 ユーザー) の場合は 64 ビット、8 コア
メモリ	8 GB ~ 24 GB
ハード ディスク	システム ドライブに 80 GB

ソフトウェア要件

コンポーネント	要件
サーバー オペレーティング システム	<ul style="list-style-type: none"> ● Windows Server 2008 R2 SP1 Standard, Enterprise, または Datacenter の 64 ビット版、または Windows Server 2012 Standard または Datacenter の 64 ビット版
ファーム内のデータベース サーバー	以下のいずれか <ul style="list-style-type: none"> ● Microsoft SQL Server 2012 の 64 ビット版 ● SQL Server 2008 R2 Service Pack 1 の 64 ビット版
クライアント コンピューター	サポートされている Internet Explorer のバージョン Internet Explorer 11, Internet Explorer 10, Internet Explorer 9, Internet Explorer 8 その他のサポートされているブラウザ <ul style="list-style-type: none"> ● Google Chrome (最新リリース バージョン) ● Mozilla Firefox (最新リリース バージョンおよびその直前のバージョン) たとえば、最新リリース バージョンが 10 の場合、バージョン 9 がサポートされることになります。 ● Apple Safari (最新リリース バージョン) ※ 組織で現在使用中または今後使用する予定の Web ブラウザーの詳細を調査して、その Web ブラウザーが SharePoint 2013 で適切に機能すること、および業務ニーズに合うことを確認する必要があります。
補足事項	その他構成や利用用途ごとに必要な追加コンポーネントなどの詳細については、SharePoint 製品サイト及び計画ドキュメントを参照してください。

※ Cybozu SP Apps の動作環境は、SharePoint 2013 の動作環境に準拠します。最新情報は Web サイトをご確認ください。
<http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc262485.aspx>

お申し込み・ご購入方法

導入に関するご相談は、サイボウズお問い合わせフォームまで。

http://spapps.cybozu.com/jp/contact_us/index.html

SharePoint に関する情報については、<http://www.microsoft.com/japan/SharePoint/> をご覧ください。

- Microsoft, Internet Explorer, SharePoint, SQL Server, Windows Server は米国 Microsoft Corporation および/またはその関連会社の商標です。
- サイボウズ, Cybozu, SP Apps およびサイボウズのロゴマークはサイボウズ株式会社の登録商標です。
- その他記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。また、本製品には他社の著作物が含まれていることがあります。
- 個別の商標/著作物に関する注記については、http://cybozu.co.jp/company/copyright/other_companies_trademark.html をご確認ください。
- 製品内容については予告なく変更される場合があります。
- このカタログの内容は、2014 年 4 月現在のものです。

Microsoft

日本マイクロソフト株式会社

〒108-0075 東京都港区港南 2-16-3 品川グランドセントラルタワー

製品に関するお問い合わせは、次のインフォメーションをご利用ください。

- インターネット ホームページ <http://www.microsoft.com/japan/>
- マイクロソフト カスタマー インフォメーションセンター **0120-41-6755**
(9:30~12:00, 13:00~19:00 土日祝日、弊社指定休業日を除きます)
- マイクロソフト ボリューム ライセンス コールセンター **0120-737-565**
(9:30~12:00, 13:00~19:00 土日祝日、弊社指定休業日を除きます)

※ 電話番号のおかけ間違いにご注意ください。



サイボウズ株式会社

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-4-14 後楽森ビル 12F

製品に関するお問い合わせは、次のインフォメーションをご利用ください。

- インターネット ホームページ <http://spapps.cybozu.com/jp/>

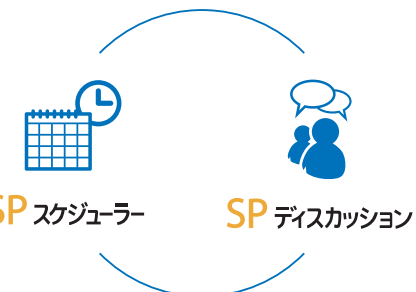
お問い合わせ先

PK-003-140424



Microsoft

SharePoint



Cybozu® SP Apps™

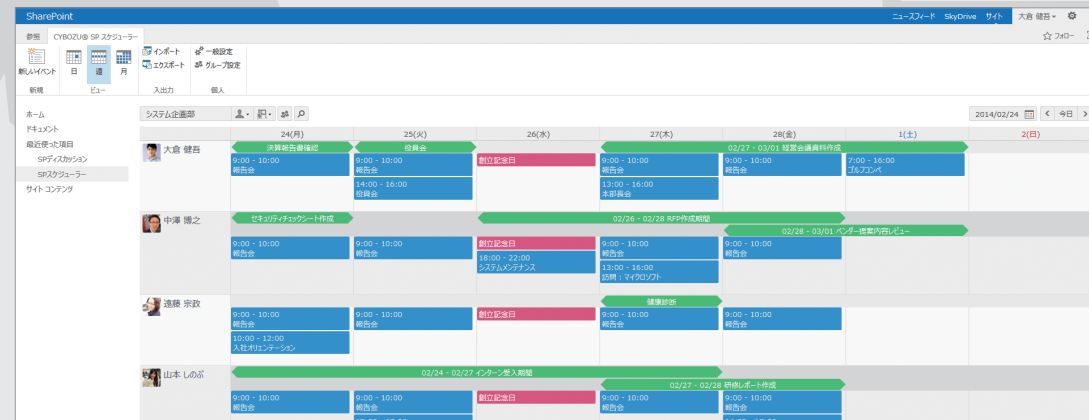
世界標準の情報基盤「Microsoft SharePoint」に、
国内で人気のグループウェア「サイボウズ」の使い勝手をプラス



ビジネス基盤にグローバルスタンダードと日本らしさを両立

～サイボウズの SharePoint 版グループウェア～

SP スケジューラー



SP ディスカッション

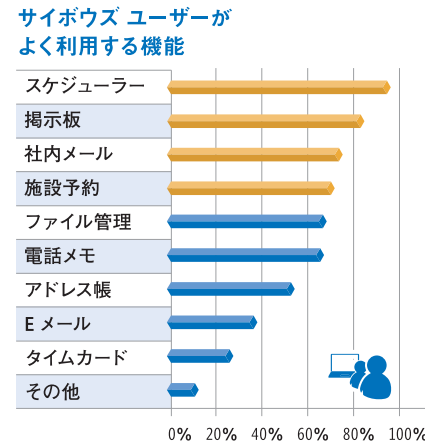


SharePoint + Cybozu SP Apps



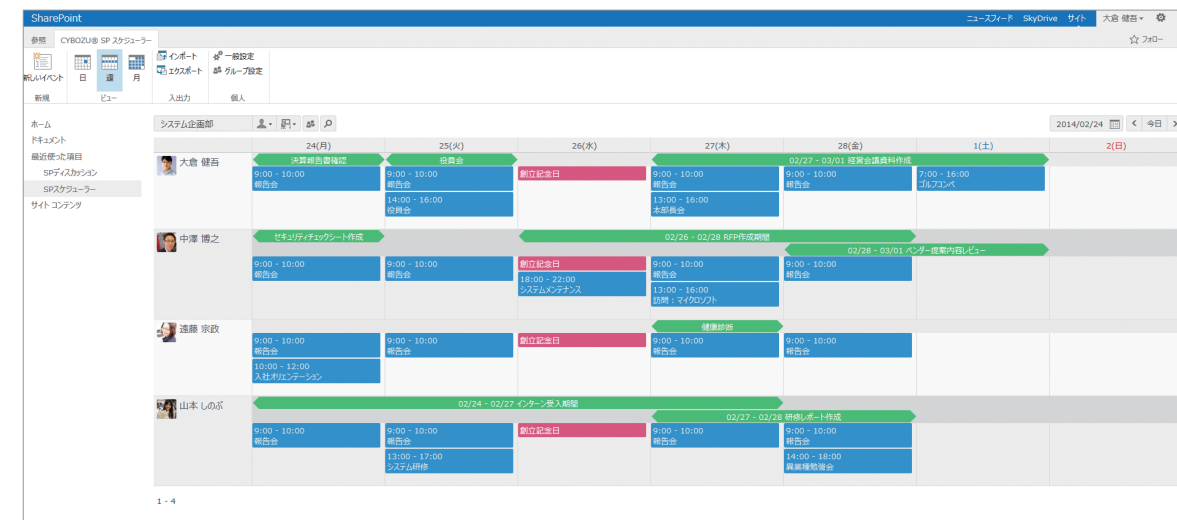
国内グループウェア市場での実績で培ったユーザーエクスペリエンスを提供

Cybozu SP Apps では、サイボウズで最もよく利用されているグループウェア機能を提供しています。SP スケジューラーにスケジュールと施設予約、SP ディスカッションに掲示板と社内メールを統合。世界標準のプラットフォームで、日本のお客様が使い慣れたグループウェア機能をそのままご活用いただけます。



SP スケジューラー

グループウェアで使い慣れたスケジュールと施設予約の機能を SharePoint のサイトにノンコーディングで追加できます。組織での活用に最適化されており、Active Directory や SharePoint グループに登録済みのメンバーのスケジュールが自動的に表示されます。利用者は、迷うことなく、組織のメンバーの予定やタスクを確認することができます。また、Exchange とともシームレスに連携します。会議の計画をする場合にも、会議室や備品の重複登録を防止して予約できるほか、資料や議事録も、同一の予定画面内で共有されます。バナー予定機能を使うことでプロジェクトの進捗管理としても活用できます。



既存の SharePoint Server へアドオンするだけですぐに利用可能

Cybozu SP Apps は、Microsoft SharePoint 上でネイティブに開発されたアプリケーションです。お客様による開発作業も、サーバーの追加も不要なほか、マイクロソフトプラットフォームと高度に連携。管理基盤は、SharePoint と共通。ユーザー情報を二重管理する必要が無く、セキュリティ設定も単一のコンソールで行えます。



SP ディスカッション

公開された掲示板に加えて、特定のメンバーだけが利用できるクローズドなディスカッションの場を利用者が簡単に作成できます。また、SharePoint のタスクリストに連携するので、キメ細やかな TODO 管理を可能にし、通常の業務連携だけでなく、拠点間をまたぐプロジェクトメンバー同士の連絡、クレーム管理、案件管理に効果を発揮します。また、Outlook との連携により、1クリックで SharePoint 上にディスカッションの場を作成できるため、組織で共有すべき情報が個人のメールボックスに埋もれることなく、企業情報として蓄積されます。

